

兵庫版
尼崎市名神町1丁目9-1
兵庫県借地借家人組合本部
発行人 田中祥晃
06-6429-1500
syakusyaku@m8.dion.ne.jp

借地借家人新聞

平日10時～17時迄
土日祝日休日



組合に入り生きる希望が持てた

生活再建に頑張ると決意

2月9日に副組合長の和田壽子さんより家賃の長期滞納と金融会社より裁判になり困った人がいるので相談にのってほしいと連絡があり、その日に組合事務所へ相談に来た。77歳の辻村信一さんは、

1、今から20年前に金融会社より50万円を借り、その後、勤務先から解雇され、入退院を繰り返して、住まいも転々としていたため返済不能で支払っていませんでした。

2、辻村さんは10年前、車のひき逃げ事故により、職を失ない6ヶ月の重傷で入院し入院費が高額の支払いが困難となりました。

3、組合では、辻村さんが生きていくために、住宅扶助と医療扶助が必要として身体障害者の認定の申請により、医療扶助と住宅扶助の申請。

4、早速、借家の管理人から返事があり、弁護士に賃貸借解除と借家の明渡し訴状を用意していたが、組合が入ってそこまですていた。



相談して良かったと喜ぶ辻村さん

3、組合では、辻村さんが生きていくために、住宅扶助と医療扶助が必要として身体障害者の認定の申請により、医療扶助と住宅扶助の申請。

5、これを聞いた辻村さんは、「これで私は生きられます死ぬことも考えたが組合に入ってくれました。」

中島清さんは3人兄弟の末子、奈良県生まれで大学卒業後、兵機海運株式会社に入社し、2年ほど務め退職しました。

高齡化が進み単身者の相談が多く、要求にこたえられない住宅は減少しています。今後は金余りで株の値上がり不動産の売買がさ

「借家人組合と私」新企画として組合員からの投稿及びインタビューで組合を身近に感じられ、親しみが持てるよう連載いたしますのでご期待下さい(連載)

